

様式第 3—2

長、補佐、専任教員及びその他の教員の履歴書 (年 月 日現在)

氏名						生年月日						
現住所	都道府県			市町村		担当予定科目						
学歴	年月 大学院 (博士・修士) 大学 短大 養成所 (卒・修業、中退)					学校・養成所名 学部学科名						
免許	種	類	登録年月日			登録番号						
専任教員養成講習会・教務主任養成講習会の受講歴		講習会の名称				修了年月 (修業期間)						
専門職歴	施設名	職種	始期		終期		期間					
			年	月	年	月	合計		内 記			
							年	月	年	月	年	月
	合計											
研究発表、論文等の業績・実務研修の受講歴 (主なものを記載)												

上記内容に相違ないことを認める。 _____ (自筆)

<記載要領>

- 1 学歴については、担当科目を教授するに関連する教育歴のすべてを記載すること。
- 2 免許については、看護職に限らず、介護福祉士等保有するすべての免許について記載すること。
- 3 専門職歴
 - (1) 専門職歴の「施設名」については、看護師である教員は、担当する専門分野に関する資質が確認できるよう、勤務病棟までを記載すること。また、看護師養成所の場合は課程の区分(2年課程、3年課程)を明記すること。また、担当した専門分野名も括弧書きで記載すること。
 - (2) 長期研修(看護教員養成講習会、認定看護師教育課程、認定看護管理者教育課程等)の受講及び看護師等養成所設立準備室での勤務、並びに長期の休業(育児休業、病気休業等)の場合は、その間を「その他」に記載すること。
 - (3) 非常勤の場合は、その旨を「職種・職位」の欄に記載すること。ただし、年数については常勤換算せずに、勤務した期間を記載すること。
 - (4) 准看護師として勤務した期間もすべて記載すること。
 - (5) 重複している期間については、()で記載すること。また、期間の合計に重複している期間を計上しないこと。

例

(令和4年4月1日現在)

	施設名	職種 職位	始 期		終 期		期 間							
							合 計		内 訳					
			年	月	年	月	年	月	臨床		教育		その他	
									年	月	年	月	年	月
専 門 職 歴	〇〇病院 小児病棟	看護師	H10	4	H14	3	4	0	4	0	-	-	-	-
	〇〇病院 小児病棟	看護 主任	H14	4	H20	1	5	10	5	10	-	-	-	-
	〇〇病院 外科病棟	看護 師長	H20	2	H23	12	3	11	3	2	-	-	0	9
	〇〇看護専 門学校看護 師3年課程 (小児看護 学)	看護師 専任教 員	H24	1	R2	1	8	1	-	-	8	1	-	-
	〇〇大学看 護学部(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	2	R3	1	1	0	-	-	1	0	-	-
	〇〇 看護専門学 校看護師3 年課程(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	2	現在に 至る		1 (1)	3 (0)	-	-	1 (1)	3 (0)	-	-
	〇〇看護専 門学校准看 護学科(小 児看護学)	非常勤 講師	R2	8	現在に 至る		(1)	(9)	-	-	(1)	(9)	-	-
合 計						24	1	13	0	10	4	0	9	

上記内容に相違ないことを認める。

_____ (自筆)